A man with dark hair and glasses, wearing a maroon and white plaid button-down shirt over a white t-shirt, stands in front of a large window. The window has a world map visible in the background. The lighting is bright and natural, suggesting an indoor setting with large windows.

*We are
the last generation
that can save our future.*

EARTH COMPANY

ANNUAL REPORT
2021

一般社団法人 Earth Company
2021年度活動報告

FOUNDERS' MESSAGE

一般社団法人 Earth Company 共同創設者

濱川 明日香・知宏

去年は変革の年でした!と言わなかった年はなかった気がします(笑)、チームで一年ほど議論した末、皆で産み落としたオンラインアカデミーのローンチは、**私たちにとって一つの大きな変化でした。**研修事業とコンサルティング事業を合併し、学生や企業に未来創造研修を届ける新生「インパクトアカデミー」。効果的でないものは手放し、提供価値の純度をより高め、**激動の時代のニーズに合わせて私たちも共に進化した、一つのマイルストーンとなりました。**

インパクトヒーロー支援事業では、IMPACT HERO 2019のウェイウェイには、クーデターが発生した母国ミャンマーのために、**支援が一番必要なタイミングで求められる支援を届けることができ、一方IMPACT HERO 2021のアリーフとは、じっくりと時間をかけて、大規模案件を追っています。そして昨年から開始した9人のファイナリストへの支援では、確実な手応えを実感!**あとは、どのように彼らの活動に直接的な支援を届けることができるか。もっともっとできることがある、もっと役に立てる、と使命感と歯痒さを同時に感じた年でした。

去年は、この言葉がキーとなりました。

We are the last generation that can save our future.

「**私たちが、未来を救うことができる最後の世代**」というこの言葉。元々科学者たちが気候変動について述べたことですが、私たちはこれを、重く捉えています。気候変動に限らず、世界の状況は限界まで来ている。「今」をターニングポイントにしなければ未来はもう守れない。このメッセージは、この一年で研修や講演を聞いてくださった約4600名の多くの方々の心に響いたようでした。

こうして私たちの提供価値とインパクトに確信を持ったと同時に、パンデミックに伴う寄付減少と、新規事業開発への初期投資の影響で、**設立以来最大の財政難にも陥りました。**そして今、一番資金を必要としています。私たちが具体的にどのように世界の役に立ていけるのか、これまでで一番明確になったからです。2022年からEarth Companyは、次のフェーズに入ります。私たちの挑戦は私たちだけでは不可能で、**もっともっと仲間が必要です!**リジェネラティブな未来を創りたい人、please join us!



OUR MISSION

“ Earth Companyは
次世代につなぐ未来のために
人と社会と自然が共鳴しながら発展する
「リジェネラティブ」なあり方を追求します ”

これから数年間の人類の行動が、今後数千年の地球の未来に影響を与えられています。多くの社会課題や環境問題を生み出さないで発展できない経済のあり方を見直すタイミングは、もう「今」しかありません。それならば、課題解決に留まらず、課題を生み出さない社会システムを。そしてその先には、人類の発展が相乗効果を持って、人、社会、自然すべてのウェルビーイングを向上する「リジェネラティブ」なあり方を目指したい。それはまさに、私たちが幸せになればなるほど、周りの人たちも、海の向こうの人たちも、自然環境も、良くなっていくあり方。世界中、地球丸ごと、一緒に幸せになるあり方。私たちは、産んだ課題を解決していく「サステナブル」を目指しているのではない。

目指しているのはその先、「リジェネラティブ」な未来です。その思いをより明確に発信するため、団体ミッションを新たにしました。私たちは地球を救える最後のジェネレーション。その最後のジェネレーションとして、新たなミッションのもと、次世代に未来をつなぐ活動をさらに加速させていきます。

『リジェネラティブ』って何!?

元々は自然を再生しながら発展する農業や社会のあり方を指して使われ始めた言葉ですが、今やあらゆるもののウェルビーイングを再生する「サステナビリティのその先」のあり方として今世界が注目するコンセプトです。

現在地

EARTH 1.0



従来の世界

社会・環境課題を生まないと
発展できないあり方

----- ネットネガティブ



EARTH 2.0



サステナブルな世界

生んだ課題を
解決しながら発展するあり方

----- ネットゼロ

(負荷:大)



EARTH 3.0



サーキュラーな世界

課題をそもそも
生み出さないあり方

----- ネットゼロ

(負荷:小)

目的地

EARTH 4.0



リジェネラティブな世界

社会の発展が相乗効果をもって
地球上全ての命のウェルビーイングを
向上するあり方

----- ネットポジティブ



WHAT WE DO

人と社会と自然が共鳴しながら発展する
リジェネラティブな未来へ向けた
Earth Companyの3つの事業



未来をつくる人を 支援する

IMPACT HERO支援事業

リジェネラティブな世界の
実現に向けて活動する
チェンジメーカーを支援

未来をつくる人を 増やす

IMPACT ACADEMY事業

リジェネラティブな世界の
実現に向けて行動するための、
学校・企業向け人材育成プログラム

未来のあり方の 事例をつくる

Mana Earthly Paradise事業

リジェネラティブな世界の
あり方を具現化した
実コミュニティの創造

Earth Company 2030年までの目標

リジェネラティブな未来をつくるため
アジア太平洋の途上国で未来を変える

チェンジメーカー100人を支援し

未来のために行動できる人を増やす

インパクトアカデミーを10万人に

提供することを目指します

EARTH COMPANY'S YEAR IN REVIEW 2021

- EC EARTH COMPANY
- IH IMPACT HERO支援事業
- IA IMPACT ACADEMY事業
- M Mana Earthly Paradise事業

JAN.

IH IMPACT HERO 2021
アリーフ支援開始

FEB.

IH ミャンマーで軍事クーデター発生、
緊急支援の準備
IA オンラインプログラム
「IMPACT ACADEMY」
開発スタート

MAR.

IH 真の民主化を目指す
ミャンマーに支援を!
緊急クラウドファンディング実施(～4月)
(317名から368万円のご支援)

APR.

IH IMPACT HERO 2021 アリーフと
集中戦略ブートキャンプ決行
IA ・UWC ISAK JAPANへの
オペレーション・グリーンを導入開始
・株式会社虎屋への企業研修提供

JUN.

IH IMPACT HERO 2021 選考の
9人のファイナリストたちへの
Lead to Regenerate エンパワメント
プログラムスタート(全5回)
M Mana Kitchenリニューアルオープン

JUL.

IA IMPACT ACADEMYの
動画教材制作に
チーム一丸で取り組み始める

AUG.

IH ニュースウィーク誌の「世界が尊敬する日本人100」に
代表理事・濱川明日香が選出
IA ・聖心女子大学にオンライン海外スタディツアー開催
・バリ島グリーンスクールと共催のGreen Leadership
トークシリーズ開始(12月まで全7回)

SEP.

IH ブミセハット国際助産院
初オンライン研修プログラム開催
M Mana Kitchenで初の結婚式

OCT.

EC 渋谷健氏×濱川明日香・知宏のオンライン対談イベント開催
IA ・オンラインアカデミー「IMPACT ACADEMY」ローンチ!
・次世代につなぐ未来をつくる教材づくりのための
クラウドファンディング実施(101名から207.6万円のご支援)

NOV.

IH IMPACT HERO 2021と
ファイナリストのための
Regenerative Futures Summit
開催
IA 中高生対象・
オンラインバリ島ツアー開催

DEC.

IH IMPACT HERO 2022 選出
EC インドネシアのNPO法人として
「Yayasan Earth Collective」を登記
M ・Manaがインドネシアの人気ビジネスコンテスト番組
「Diplomat Success Challenge」のロケ地に
・「サーキュラー・アワード」で24カ国204点の応募から、
Mana Earthly Paradiseが「サイスの弟子たち」賞を受賞

2021年の寄付総額
 **3,630**万円

2021年のIMPACT HEROへの送金総額
 **764**万円

2021年の受益者総数
 **130,000**人

2021年のIMPACT ACADEMY参加者数
 **1,621**名

IMPACT HEROES

IMPACT HERO 支援事業

リジェネラティブな未来を創る、
類稀な変革力を持つアジア太平洋の
チェンジメーカーを支援。

1年に一人選出するIMPACT HEROには、
活動のインパクトを最大化できるよう、
課題やニーズに合わせたカスタマイズ支援を
3年間とことん寄り添って提供。

また2021年から、ファイナリストへも支援を広げ、
リジェネラティブな未来を創る
リーダーになるための研修を通年実施。

2030年までに、100人のリジェネラティブな
未来を創るチェンジメーカーを育成することを目指します。

IMPACT HERO COMMUNITY

Earth Companyがこれまでに支援してきた、アジア太平洋地域で類まれな変革力を持つ6人のIMPACT HEROと15人のファイナリストをご紹介します!

- IMPACT HERO 2021 ファイナリスト
- IMPACT HERO 2022 ファイナリスト
- IMPACT HERO



IMPACT HERO 2021
アリーフ・ラビック
(インドネシア、森林再生)



IMPACT HERO 2016
ロビン・リム
(インドネシア・フィリピン、保健医療)



Kristin Kagetsu
(インド)



Rhea Mazumdar Singhal
(インド、他)



Maisha Lubaba
(バングラデシュ)



Aravindh Panch
(スリランカ)



Somsak "Pai" Boonkam
(タイ)



Patima Tungpuchayakul
(タイ)



Muhammad Noor
(マレーシア)



Randi Julian Miranda
(インドネシア)



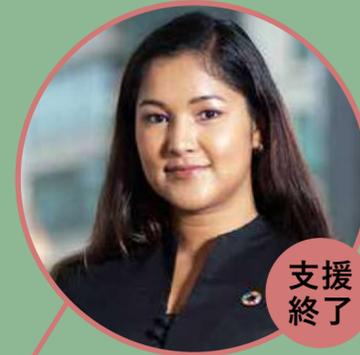
Gary Benchehib
(インドネシア)



Aparna Bhatnagar Saxena
(インドネシア)



Noryawati Mulyono
(インドネシア)



IMPACT HERO 2019
ウェイウェイ・ヌー
(ミャンマー、平和構築)



支援終了



IMPACT HERO 2022
サミール・ラカーニ
(カンボジア・ネパール他、保険衛生)



支援中



IMPACT HERO 2015
ベラ・ガルヨス
(東ティモール、環境教育)



支援終了



IMPACT HERO 2017
キャシー・ジェットニル=キジナー
(マーシャル諸島、気候変動)



支援終了



Sagufta Salma Janif
(フィジー)



Eugenio 'Ego' Lemos
(東ティモール)

OUR IMPACT 2021

2021年は、みなさまからのご支援で下記の活動を実現することができました。
ご支援ありがとうございました。

2021年の受益者総数
130,000人

2021年のIMPACT HEROへの送金総額
764万円

1 IMPACT HERO 2019 ウェイウェイ

ミャンマーの軍事クーデターを受けて、ウェイウェイのアドボカシー活動を支援。
クラウドファンディングによる367.5万円を含む、690万円を送金。
また米国でファンドレイジングをできるように団体登録のための支援も実施。

2 IMPACT HERO 2021 アリーフ

大型助成金申請、ピッチデッキ作成、市場開拓、マーケティング支援を通して、
1000のバンブービレッジ設置という壮大なビジョン実現に向けた支援を提供。

3 IMPACT HERO 2021ファイナリスト9名

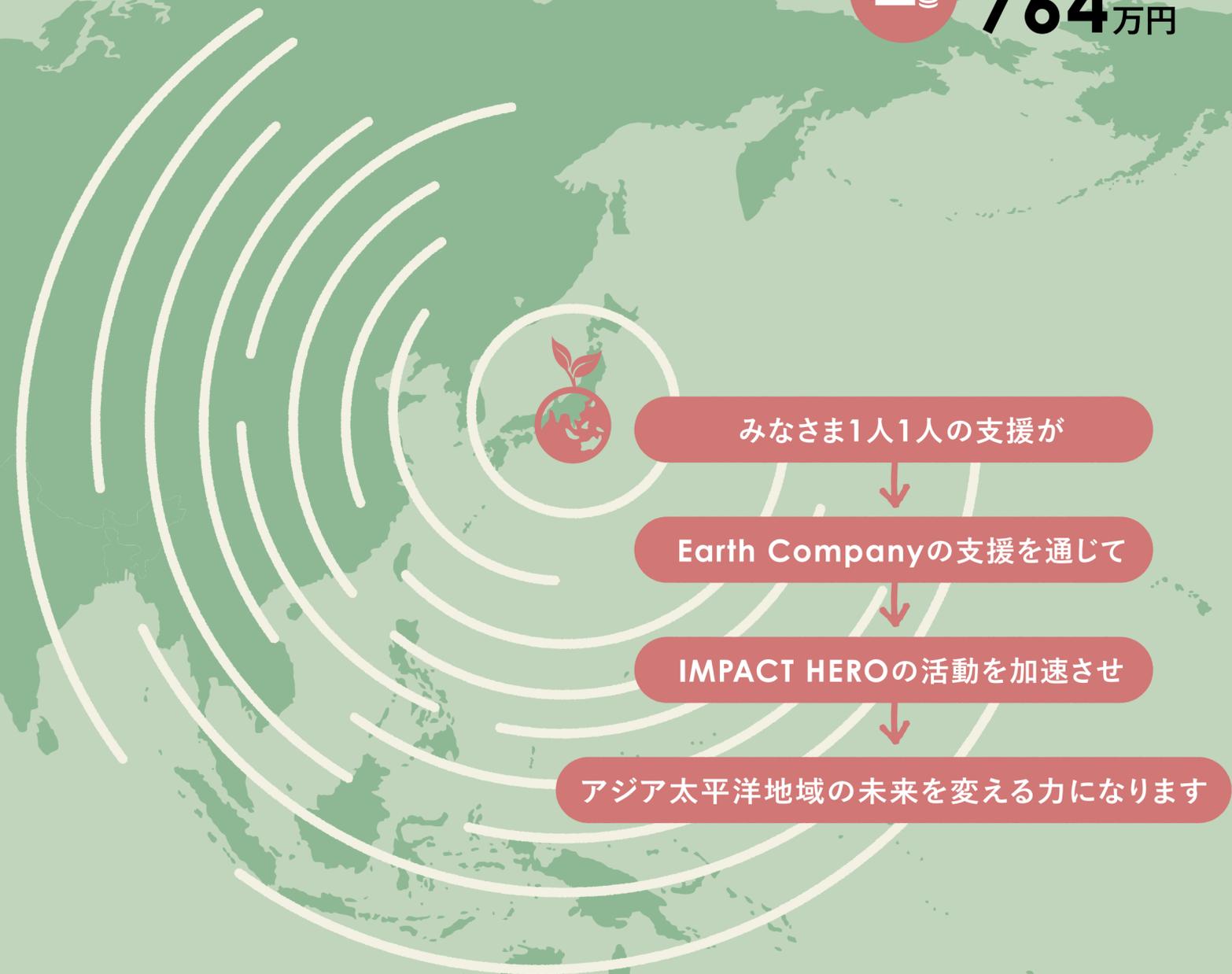
6ヶ月間のリーダーシップ・プログラムと、
オンラインサミットの開催を通じた機会創出を提供。

4 IMPACT HERO 2022 セレクション

15ヵ国から集まった 秀逸なチェンジメーカーから
IMPACT HERO 2022を含む7名をファイナリストに選出

5 IMPACT HERO 2016 ロビン

外部支援団体と繋げ、緊急支援活動(フィリピンの台風被害)への支援金調達をファシリテート。



IMPACT HERO 2019

WAI WAI NU

3年間のご支援ありがとうございました。



IRF Summit 2021



3年間の累計支援額

1,370万円



3年間の寄付人数

445人

- 内訳
- ヤンゴン・ユース・リーダーシップセンター運営支援: 528万円
 - ミャンマー軍事クーデター緊急支援(アドボカシー活動支援): 690万円
 - マーケティング支援費: 64万円
 - その他支援活動費: 87万円

ミャンマー・ラカイン州生まれ。民主化運動に関わっていた政治家の父を持つという理由で、大学生だった2005年に突然逮捕・投獄され、7年間の刑務所生活を余儀なくされる。刑務所内で多くの女性の話に耳を傾ける中で、社会的不平等の結果厳しい境遇にある女性たちの実状を知り、女性や少数民族の権利と尊厳が守られる社会を築くことを決意。2012年の釈放後、女性への教育機会提供を目的としたWomen's Peace Networkを設立。その後様々な民族の若者を対象とした教育事業や、ロヒンギャ難民キャンプへの支援など、草の根での活動を推進する一方、ミャンマーの少数民族の人権問題に関するアドボカシーも実施。特に2021年2月の軍事クーデター以降は、国際機関や各国政府へのロビー活動やメディアを通じた情報発信など、ミャンマーが真の民主化を実現するために、精力的に活動を行っている。



2021年12月 支援終了

Earth Companyの 3年間の支援内容

ミャンマーで団体設立後、主に海外からの助成金で活動を行ってきました。
しかし、代表のウェイウェイが安全上の理由で米国に拠点を移したことで、助成金の対象基準から外れたり、
成果の可視化が困難なアドボカシー活動は支援が得られにくいことから、
持続的な活動資金の調達にウェイウェイにとって常に大きな課題でした。
この状況を踏まえEarth Companyは、①既存の活動継続に必要な運営費の調達、
②持続的な資金調達が可能にする運営母体の設立に対する支援を行いました。



ヤンゴン・ユース・リーダーシップセンター (YYLC) 運営支援

YYLCは、ミャンマーの若い学生、活動家、少数民族のリーダーが民族の垣根を超えて民主主義や平和を学ぶプログラムを提供。助成金が途切れた存続の危機を支援するため、2019年6月にクラウドファンディングを実施し、96名から223万円のご寄付を賜りました。合計**538万円を送金して活動費を支援**。

YYLCは、ミャンマー民主化政府の閣僚を含め、現在の民主化運動を牽引する多くの若手リーダーを輩出しています。



ミャンマー軍事クーデター 緊急支援

2021年2月に発生したミャンマー軍事クーデター。その直後の2021年3月から4月にウェイウェイのアドボカシー活動へのご支援を募るクラウドファンディングを実施し、317名から367.5万円のご寄付を賜り、企業寄付と合わせ**690万円の寄付を送金**しました。これによりウェイウェイは、国連や各国要人への情報提供や世界の主要メディアを通じた情報発信を絶え間なく続け、ミャンマーの民主化に向けて重要な役割を果たしています。



米国での団体設立支援

ミャンマー国内外での多岐にわたるウェイウェイの活動をより効果的に運営し、また持続的な活動に必要な団体基盤をつくるべく米国で資金調達を行うために、米国でのNPO登録準備を支援してきました。2020年7月にはオンライン・ブートキャンプを行い、新団体の定款に載るビジョン・ミッションの言語化や、事業の位置づけを検討。また、新団体の登記に必要なとなるロゴやブランドガイドライン作成などのサポートも提供しました。

ミャンマーのクーデター発生後の動向と ウェイウェイのアドボカシー活動の連動性 (2021年2月～)

ミャンマーの動向



クーデター発生抗議活動の開始

国民統一政府
(NUG) 発足



NUGがロヒンギャに
市民権を与える基本方針発表



市民の死者数1000人を超える

国軍が5600人の
拘束者を解放!(10月)

国際社会動向



国連安全保障理事
会緊急招集(3月)



国連総会で武器流入防止の
決議採択(6月)

ASEANが国軍司令官の
首脳会議参加を拒否(10月)

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

メディアやイベントでの
情報発信開始(2月～)
国連に共同声明文提出
(3月～複数回)

NUG閣僚に対して
ロヒンギャ政策に関する
非公式アドバイザリー(4月～)

米国国務長官と
面会(7月)

米バイデン大統領・
オバマ元大統領への
書簡提出(8月)

国連人権理事会で
登壇(9月)

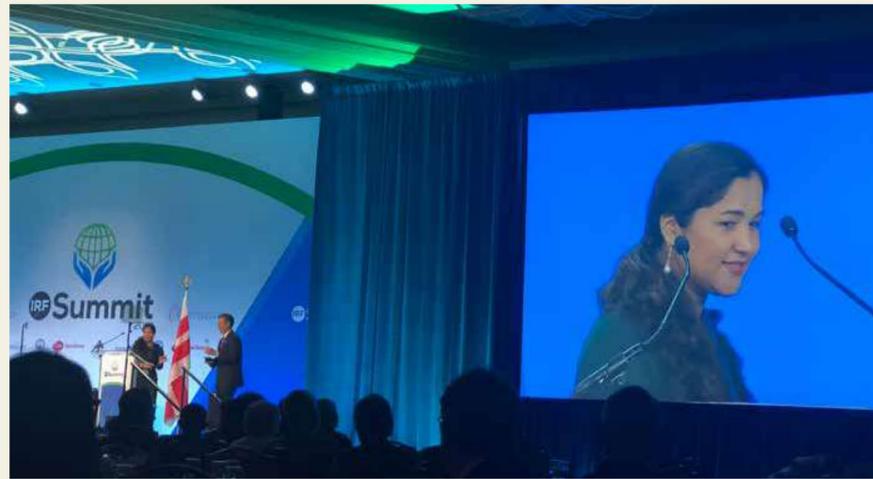
ASEANに共同声明文
提出(10月)

ウェイウェイの主な活動



ウェイウェイの3年間の活動内容

ロヒンギャ出身の若き女性リーダーとして、ミャンマーの平和構築・民主化運動の「希望の星」とも言えるウェイウェイ。クーデター以降、彼女のアカウントのフォロワー数は劇的に増加。民主化に取り組む若者たちのロールモデルとして、その影響力を広げています。



メディア出演数(2021年)
112件

 @waiwainu フォロワー数: 52,000人  Wai Wai Nu フォロワー数: 110,000人

ミャンマーの動向に世界の注目が集まるなか、拠点とするアメリカから、**20カ国のメディア・イベントに登壇**し、ミャンマーの現状や国際社会によるアクションを訴えました。また、著名な外交誌に掲載されたコラムは、各国の政府高官や著名な人権活動家などに広くシェアされ、ミャンマーの人権・民主化問題の専門家として、その発言が注目されています。



Wai Waiの活動内容

若者のエンパワメントと民主化運動

設立以来**3,500名以上の若者**を対象に、市民・政治教育や英語教育プログラムを提供してきたヤンゴン・ユース・リーダーシップセンター。その卒業生からは、現在の民主化運動を牽引するアクティビストがタイム誌に掲載されるなど、次世代リーダーたちが輩出されています。YYLCのプログラムは、2020年の新型コロナパンデミック以降はオンライン配信に切り替え、ミャンマー国内だけでなく国外のロヒンギャ難民の若者を含むさらに広い層にリーチしました。また2021年の軍事クーデター以降は、民主化運動に関わる若者たちのSNSプラットフォームに参加し、非暴力のデモ運動に関するアドバイスを届けています。

国際社会に向けたアドボカシー活動

現在の活動母体であるWomen's Peace Networkを通して、ミャンマー軍によるロヒンギャを始めとする少数民族や女性に対する人権侵害の現状調査と提言書の作成を行い、国際機関や各国政府に対して提出するなど、ミャンマー軍の責任追及と状況改善のための効果的なアクションを促しています。またミャンマーで平和構築活動に関わる草の根のリーダーたちとネットワークを構築し、民主化運動への支援をコーディネートや、アドボカシー活動を連携して行っています。ウェイウェイ自身も欧米を中心としたメディアや学術機関、人権活動団体のネットワークなどを通して活発に情報発信を行っています。



ウェイウェイからの
メッセージ 

ミャンマーの民主化に向けた私たちの活動は常にチャレンジングでしたが、軍事クーデターの後、さらに多くの人びとが本当に厳しい境遇に陥ったことに、日々心を痛めています。そんななかでも活動を続けていくことができたのは、Earth Companyと日本の皆さまからのご支援があったからこそです。私の役割は、ミャンマーの真の民主化に通じる道を、みんなのために拓くことだと思っています。

IMPACT HERO 2021

ARIEF RABIK

世界10か国に10,000のバンブービレッジを！
成長の早い竹による「再生経済」を構築し
気候変動、土地荒廃、貧困、ジェンダー格差の
4つの課題の同時解決に挑む

竹の専門家として環境保全や地域開発に尽力し、Environmental Bamboo Foundation (EBF) を設立した母親の元で、7歳の時には既に67種類の竹の名前を覚えていたというアリーフ。志半ばで亡くなった母の遺志を継いでEBFの代表となったアリーフは、母国インドネシアで「1000のバンブービレッジ」プロジェクトを立ち上げ、これを10カ国に展開することで、竹による土地再生、世界の木材需要を置き換える竹材の生産と普及を通して、地球と人類の未来を揺るがす森林減少問題、気候変動、貧困、ジェンダー格差の同時解決に挑む。



アリーの2021年の活動内容

アリー率いるEBFが目指すのは、1000のバンブービレッジを設置して、インドネシアに存在する荒廃地の8%を再生し、それにより同国が排出する年間温室効果ガスの約16%を削減すること。さらに雇用する100万人(主に女性)の収入が最大4倍UPすることで、貧困とジェンダー格差を含む4つの課題の同時解決に挑む、という巨大スケールのソリューション。その実現に向かって、昨年も政府への協力訴求と、大きな資金調達のために世界を飛び回り、大忙し&大活躍の一年でした!

200のバンブービレッジづくり動き出す!

インドネシア・東ヌサ・トゥンガラ州(NTT)フローレス島には、すでに約20のバンブービレッジが存在しています。昨年度EBFは、貧困率が高くインフラも整っていない地域が多い同州の州政府と正式に提携。農家の収入向上と荒廃地の回復のために、NTT州の州知事や行政機関と連携し、州全域に200のバンブービレッジをつくるためのプロセスが始まりました!

Pulau Flores



COP26で世界にアピール

11月に英・グラスゴーで開催されたCOP26*に参加。COPの会場に設置されたインドネシア・パビリオンで、竹に関するセッションのモデレーターを務めるなど、インドネシア政府と連携して、気候変動緩和策として竹が持つ可能性を世界にアピール。また、ウイッド大統領とも面会。インドネシアの国家戦略に、気候変動緩和に貢献する竹産業の推進を盛り込むよう、政府に働きかけを行いました。また、アリーのCOPでの活動はシンガポール国営放送にも取り上げられ、国内外から注目を集めています。

*国連気候変動枠組条約第26回締約国会議

COP26でのインドネシアのコミットメント

COP26で、インドネシア含む100を超える国々が、2030年までに森林破壊を停止することで合意。国の経済発展への影響を懸念する声はあるものの、ウイッド大統領は世界最大の面積を持つマングローブ林の再生に着手したり、竹のポテンシャルにも注目し、EBFの巨大スケールなソリューション展開に追い風となることを期待!

Earh Companyの支援内容

国面積の半分が森林である森林大国インドネシアでは、1970年代からの開発によりすでに天然林の70%を失っています。そしてインドネシアで生産される合板の16%が実は日本へ運ばれており、私たちが関係していないとは決して言えないのです。森林は「地球の肺」。健全な森なしに、人類は生き延びることができません。2050年には地球の土地の95%が荒廃すると予測されています。森林の消失を食い止め、地球と人類を最悪シナリオから救うためのアリーの事業はスケールが大きく、私たちの支援もすぐに成果を可視化できるものではありませんが、大きな目標のための着実なステップを、一つひとつ、共に踏んでいっています。



日本でのネットワーク拡大

森林伐採を食い止めるため木材需要を減らすべく、バンブービレッジで加工・生産される年間16,000トンに及ぶ竹の建材販路を広げるために、日本の卸売企業やビジネスパートナーの新規開拓に取り組んでいます。それに向けた日本語の説明資料や紹介動画の制作、日本語でのメディアプレゼンスを向上するために、ウェブメディアへのアプローチも行いました。

[アリーのインタビュー記事はこちら!](#)

助成金の申請支援

インドネシア国内及び海外へのバンブービレッジ拡大に向けて、資金調達のサポートを行いました。採択されれば約数十億円という大規模な賞金獲得が見込まれる、国際的な助成金への申請書類の作成支援やアドバイザリーを提供。既に一次審査を通過したという知らせを受け、続報が待たれます!

IMPACT HERO 2021 ファイナリスト支援

Earth Company史上初!

ついにIMPACT HEROファイナリストたちへの支援を開始!

これまで、年に1人選ぶIMPACT HEROしか支援できないことに葛藤を覚えていましたが、2021年は9人のファイナリストにも支援を広げ、リジェネラティブな未来づくりに必要な知識や視点を身につける5ヶ月間のオンライン・ワークショップを行った後、その学びを経て各ファイナリストがビジョンを発表するサミットを11月にオンライン開催しました。サミットには、南アフリカからカナダまで、課題解決に影響力を持つ30名のゲストを迎え、インスパイアされたゲストとファイナリストの間で、15件の機会が生まれました。

参加者からの声

今日聞いた話は、これから何時間後、何日後、何年後まで心に残り、課題について考えさせられるものでした。

(グリーンスクール関係者、ブラジル)

世界をより良くするために皆さんが発揮している類まれな気骨、ビジョン、粘り強さと献身さに心から感銘を受けています。皆さんのおかげで、私は人類に希望を取り戻すことができました。

(エグゼクティブコーチ、オーストラリア)

皆さんの活動、その多くが実現可能なサステナブルな事業モデルであることにインスパイアされました。

(世界銀行職員、アメリカ)

アースカンパニーは素晴らしい人を惹きつける、磁石のような存在。ポジティブなエネルギーを広めていることが素晴らしいチェンジメーカーたちを集められている理由だと思いました。

(財団職員、日本)

プログラムに参加したImpact Hero 2021 ファイナリストたち



Patima Tungpuchayakul(タイ他)
タイの漁船から5000人の奴隷を救出!ノーベル平和賞ノミネートの果敢な人権活動家



Nguyen Thi Van
(ベトナム)
障害者の画像編集ビジネス事業を展開!重度の障害を持つスーパービジネスウーマン



Somsak "Pai" Boonkam(タイ)
サステナブルツーリズムでタイの村々を貧困から救う若きホープ



Muhammad Noor
(マレーシア)
デジタルIDで国籍のない難民を救うIT系ロヒンギャ活動家



Randi Julian Miranda
(インドネシア)
エシカルファッションビジネスで森林伐採の島を救うローカルヒーロー



Arief Rabik(インドネシア)
竹で木材を置き換える新しい再生産業で気候変動、森林伐採、貧困の同時解決に挑むインドネシアのバンブープレナー



Aravinth Panch
(スリランカ)
社会課題と若手リーダーをマッチング!元難民の実力派イノベーター



Kristin Kagetsu(インド)
自然に還る生理ナプキンで生理の貧困解決を目指す社会起業家



Sagufta Salma Janif
(フィジー)
アップサイクルでゼロウェストに!Z世代を牽引するエコリーダー

IMPACT HERO 2022

SAMIR LAKHANI

未使用で捨てられる石けんをリサイクルし、
廃棄物削減と女性の雇用を促進しつつ、
最貧困層の人たちの命を救う



訪れたカンボジアの農村で、洗濯洗剤で新生児を洗う母親の姿を見て、衝撃を受けたサミール。石けんすら買えない貧しい状況にある人たち、衛生状況が悪いことで、下痢や感染症など予防可能な病気で命を落とす子どもたちを一人でも減らすために、2014年にEco-Soap Bankを設立。Eco-Soap Bankは、工場での製造過程の中で毎年2.5億個も廃棄されてしまうという未使用の廃棄石けんに着目し、工場から回収、途上国の貧困層の女性を雇用してリサイクルし、NGOや国際機関を通して必要な人に届けることで、廃棄石けんをリサイクルすればするほど、ゴミ削減、女性の雇用創出、より多くの人に衛生習慣と健康改善を提供できるという、リジェネラティブなモデルを展開している。これまでに1,500トンキロ以上の廃棄石けんをリサイクルし、アジア、アフリカ地域の550万人以上の人びとに届けてきた。



2022年1月 支援開始

IMPACT HERO 2022

ファイナリスト紹介

15か国のチェンジメーカーから応募があったIMPACT HERO 2022。
今回も、リジェネラティブな未来を創る変革力を持つ、傑出したチェンジメーカーが集まりました。
そのなかから選考チームが慎重に検討を重ね、自信を持って選んだ6名のファイナリストをご紹介します！

Indonesia



ゲイリー・ベンチェギブ
Gary Benchehib(インドネシア)

海に流れ出るごみをせき止めるバリアを設置
ごみを川でキャッチするバリアの普及で
海ごみフリーなインドネシアを目指す
フランス人青年活動家



ノリアワティ・ムリヨノ
Noryawati Mulyono(インドネシア)

海藻を原料とした包装紙の開発
海藻でプラスチックの代替品を開発！
プラごみとCO2の同時削減に取り組む
インドネシア人女性科学者



アパルナ・バットナガール・サクセナ
Aparna Bhatnagar Saxena(インドネシア)

先住民のデザインを取り入れたエシカル・ファッション・ビジネス
サプライチェーンの上流から下流までエシカルに！
インドネシアのファッション事業の再生を手がける
インド人女性社長

Bangladesh



マイシャ・ルババ
Maisha Lubaba(バングラデシュ)

エシカルブランドを通じた農村部の女性のエンパワメント
バングラデシュ農村部から100人の女性起業家を輩出！
宇宙飛行士になる夢を諦めて転身した
女性社会起業家

Viet Nam



ホン・ホアン
Hong Hoang(ベトナム)

気候危機に取り組む若者のエンパワメント
気候変動アクティビズムがタブーな社会主義国ベトナムで
若者に命懸けで環境教育を届ける
熱血女性アクティビスト

Timor-Leste



エゴ・レモス
Eugenio 'Ego' Lemos(東ティモール)

全国の学校にパーマカルチャーを普及
アジア最貧国東ティモールの子どもたちに
「育む心」と「生きる術」を！
全国の公立校にパーマカルチャーを導入する人気歌手

IMPACT HEROES IN 2021

支援期間が終了したIMPACT HEROたちの活動



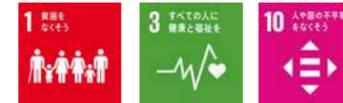
環境・LGBTI・政治活動家
東ティモール



2021年はベラにとって困難な1年でした。ルブロラ・グリーンスクールはパンデミックの影響により休止中。そんな中ベラの支援者がベラがLGBTIであることを理由に大統領選での不支持を表明し、ベラは出馬を断念。幼少の頃に自分を5ドルで軍に売った父を介護する日々を過ごしながら、LGBTIの若者たちの保護活動を行う団体を法人化。LGBTIを理由に家庭で暴力を受けている240人の子どもを保護し、理解促進のためのイベントやアドボカシーを積極的に実施しました。



助産師・インドネシア



変異株の蔓延で医療現場がひっ迫する中、ブミセハットは安心して出産できる環境を整え、5つのクリニックで728人の赤ちゃんの出産介助をしました。パパアクリニックでは、助産師が湖を渡り、医療の届かない地域への訪問診療も実施。また、コロナで収入が激減した家庭への食料配布、さらにバリ島地震・フィリピン台風など自然災害への緊急支援も行いました。



気候変動活動家・詩人
マーシャル諸島共和国



キャシーが代表を務めるJo-Jikumでは、2021年からメンバーが政府の適応計画策定に情報提供を行い、気候変動に脆弱な離島コミュニティの特定やその島の若者に最新の気候科学を教えるなど精力的に活動。また気候変動特命大使として、2023年に期限を迎えるアメリカとの自由連合協定の改定交渉に大きく関わりながら、核実験賠償に加えて今回重要な交渉ポイントとなる気候変動をテーマに、博士課程での研究にも注力しています。

IMPACT ACADEMY

インパクトアカデミー事業

人と社会と自然が共鳴しながら発展する
リジェネラティブな未来のために
それぞれの場所で、行動を起こせる人を
育成するプログラム

今後数年の人類のアクションが
今後数千年の地球の未来に影響を与えられています。

私たちは、「地球を救える最後のジェネレーション」。

その「最後のジェネレーション」として、
未来を守るための行動を起こせる人を
一人でも多く増やすためのプログラムが、
IMPACT ACADEMYです。



IMPACT ACADEMY

リジェネラティブな未来をつくる人のためのアカデミー

2021年に開催した総プログラム数
16本

2021年のプログラム参加者数
1,621人

Earth Companyは今まで、バリ島に24カ国から503人の参加者を迎え、未来のために行動を起こす人を育成してきました。パンデミックで渡航ができなくなった今、日本にいながらも学びの機会が得られるように、バリ島でのプログラムをベースにオンラインだからこそ提供できるコンテンツを加え、大幅にパワーアップして2021年10月にリリースしたのが研修事業「IMPACT ACADEMY」です。

選べる課題

気候変動 貧困 人権
 保健 森林伐採 など

Point 1

リアルな題材

未来をつくるIMPACT HEROと、国際的に受賞歴のあるMana Earthly Paradiseが題材。SDGsと課題の最前線を実感できます。

Point 4

心に火がついた後も伴走

学校や企業で行動するための実践型プログラムも多数用意。「実際にやってみる」にも伴走。



Step 1

心に火をつける (講座)

世界の「現状」と「未来予測」を知り「自分にすべきことがある」と心に火がつく。



Step 2

構造を理解する (講座)

自分と世界の繋がりを知り、課題が生まれる構造を理解する。



Step 3

心で世界を知る (動画教材&ディスカッション)

世界のリアルな現状を心で感じ、考え、共有し、深め、自分ごとに。



Step 4

解決策を考える (動画教材&ディスカッション)

解決策の事例を知り、自分・自社が目指すべき姿と、今後のアクションプランを考える。



Step 5

行動に移す (プロジェクト型ワークショップ)

実践メニューの中から、選んだアクションを実践する。

【実践メニュー】

ミエルカ・ステップ
 オペレーション・グリーン
 アース・チャレンジ
 ビジョニング・ワークショップ
 バリ島リトリート
 プロボノプロジェクト

Point 2

心に火がつくことを重視

主体的に持続する行動を起こす「原動力」になれるよう、心で感じて共感し、自分ごと化するプロセスを重視。

Point 3

短編ドキュメンタリーのような動画教材

社会課題解決に人生を賭ける生き方や社会課題のリアルなど、課題を構造的に理解し、解決策を描くヒントをIMPACT HEROからもらう。▶ [動画を視聴する](#)

IMPACT ACADEMY for Companies

企業対象プログラム事例と 受講者の声

IMPACT ACADEMY for Companiesは企業対象のプログラム。2021年はプログラムリリース直後でしたが、世界の課題を誰よりも知り、課題を生き抜いてきたIMPACT HEROの登壇など、他の企業研修にはない「圧倒的な事例のリアリティ」に心を揺さぶられる参加者が続出しました。

プログラム提供実績

(株)日立製作所、パソナ日本創生大学校
パソナ・パナソニック ビジネスサービス(株)
(株)虎屋、Plan・Do・See Indonesia
自然電力(株)、富士見森のオフィス



日立製作所に ワークショップを提供

2021年9月～12月の3ヶ月間、NPO法人クロスフィールズと共に、株式会社日立製作所へ社会イノベーション事業体験ワークショップを提供。情報通信システム部門の社員12名が参加し、インドネシアの環境問題をテーマに現地の課題への理解を深めながら、「自分・事業・社会」起点の視点を得て、日立だからこそできる環境問題を解決する新規事業アイデアの立案を行いました。参加者からは「日立が与える社会インパクトの大きさを理解でき、大きな学びとなった」等、今後の事業や業務への意欲につながる感想をいただきました。

【参加者の声】

誰を助けたいのか、何を救いたいのか真剣に考えて、事業アイデアを社会の為に考えたことは財産です。



普段は目の前の業務だけで視野が狭まっていると感じていたが、入社した時に抱いていた社会や環境課題に対して取り組むという、大きな仕事に取り組めている実感が得られた。



パソナ日本創生大学校で インパクト経営プログラムを提供

2021年10月に実施されたパソナ日本創生大学校が女性幹部候補を育成する3ヶ月のプログラム「Women's Advanced Program」にて、日本の大手企業18社から18名の参加者に対し、「インパクト経営」(12時間)を提供。世界の現状を知り、自分の中のモヤモヤが涙となり、変化の必要性を心で感じてから、社会課題の構造と求められる変化を理解し、最終発表は「自分が社長だったら自社をこう変える!」という視点で、世界を良くするための自社のポテンシャルについて発表しました。心を揺さぶる内容に、参加者からは「人生を変える研修だった」との声もいただきました。

涙が止まらなかった。私たちのいる場所で出来る事から始めることの大切さ、人の想いが人を、会社を、社会を動かすということ学びました。



私たちは地球を救える最後の世代であることを、皆が理解しすぐに取り組まないといけない事を心から感じた。



IMPACT ACADEMY for Schools

学校対象プログラム事例と 受講者の声

IMPACT ACADEMY for Schoolsは学校対象のプログラム。高校での探究学習を始め、中学の総合的な学習の時間や大学のフィールドワークなどに合わせ、社会課題や環境問題を学ぶプログラムや、その解決のために行動を起こす実践プログラム「オペレーション・グリーン」を提供しています。



プログラム提供実績

東洋大学、大阪大学、聖心女子大学、文教学院大学、
関西学院大学、立命館高校、高松西高校、
UWC ISAK JAPAN、慶應義塾ニューヨーク学院、
PAAC(ハワイ州)



オンラインでも五感を刺激する 海外スタディツアー

夏休みの4日間、聖心女子大学の学生にオンライン・プログラムを提供しました。学生は、今後のキャリアを考えるタイミング。そこで、バリ島で暮らす5人の日本人のライフストーリーに焦点をあて、オンラインでも一生忘れられない経験をしてほしいという思いで、様々な「well-beingな生き方」と出会う機会を提供しました。できる限りバリ島を感じられるよう、寺院やマーケットからの中継や、バリ人からお菓子作りを学ぶ料理教室など、五感も刺激しながら、新たな自分に出会うプログラムでした。

【参加者の声】

物事の見方や学びの姿勢を根本からゆるがされるような感動を得る経験は初めてで、とても貴重な経験でした。



こんなに愛の溢れた人たちに会えたこの研修は私の心をととても暖かくしてくれました。オンラインでここまで心を開いて想いを受け止めようと思えたことに自分でも驚いています。



サーキュラープロジェクトで 1000万円の助成金獲得

学校をよりサステナブルに変えたいという生徒からの発案で、UWC ISAK JAPANでは4月から実践型プログラム「オペレーション・グリーン」を導入しました。プログラムは意識調査から始まり、校内を環境負荷チェックリストで確認。改善ポイントを洗い出し、アクションプランを実現するために国際的な財団に助成金の申請を行う生徒に伴走しました。世界4000の応募から選ばれ、見事約1150万円(US\$100,000)の助成金を獲得し、今後はその資金を元に、地元からの食材調達や雨水利用施設設置などを実践していきます。



CO2排出量を可視化して初めて自分たちの学校の環境負荷を知り、問題の緊急性を再認識。優先すべきアクションがクリアになり、学校全体に伝えていく責任があると感じた。



自分たちにも今すぐできることがたくさんあることを知り、それぞれに優先順位を付けていくことで実現の可能性がぐっと高まった。



MANA EARTHLY PARADISE

エシカルホテル事業

人と社会と自然が共鳴しながら発展する

リジェネラティブなあり方を具現化する

エシカルホテルの運営

Mana Earthly Paradise (マナ・アースリー・パラダイス)は、
人と社会と自然が共鳴しながら発展する
リジェネラティブなあり方をできる限り具現化するバリ島ウブドのエシカルホテル。

照明は太陽光発電で賄い水は雨水を使用するなど
様々な資源の循環を取り入れた取組で国際的な賞も受賞しています。

私たちは私たちを育てくれるバリの土地と文化、人々に敬意を払い
私たちがここにいればいるほど周囲の社会や環境が良くなっていく
真のサーキュラーエコノミーの実現を目指しています。

mana kitchen

PROBIOTIC · ORGANIC · HEIRLOOM
INDONESIAN · JAPANESE FOOD

2021年に試みたこと

存続をかけて、全力を尽くしています！

2019年9月のオープンから半年で直面したコロナパンデミック。マナは日の目を見ることなく突入したこの危機を乗り越えるため、2020年は全力投球しましたが、パンデミックも2年目となると財政状況はかなり厳しい状態に。

チーム全体でアイデアを振り絞って新しい試みを導入しても、人がいないウブドで結果を出すことは難しく、メンバーが肩を落とすことも少なくありませんでしたが、そんな中救いの手を差し伸べてくださる支援者の方々のご協力もあり、もう一度奮い立ち「できること全てやろう！」と2021年も走り切りました！

CHSE認証取得

お客様に安心して泊まって頂けるよう、コロナ対策に加えて、衛生、健康、安全、環境などへの配慮が十分にされていることを証明する観光省が発行する認証を取得



1 Mana Kitchenのメニュー追加

ディナータイム用のカクテルやタパス、カフェタイム用にはビーガンケーキなどの新メニューを追加。



5 Mana Marketに食品売り場設置

ウブド在住者のニーズに合わせて、冷蔵セクションを設置。地元オーガニック食材を量り売りで販売し、デリバリーも開始。

2 Mana Kitchenのリノベーション

お子様連れでも過ごしやすいファミリーセクションや、マルシェに適したガーデン席を設置し、全体的にデザイン性と居心地を改善。



3 4 ウィークリーアクティビティやイベントの開始

毎月のアコースティックナイトや、隔週のワークショップ（お香作りや植物染など）、毎週のキッズアクティビティを開始。金曜日のキッズムービーナイトが好評！

国内外で高まる注目度

ウェディングやTVロケも!

リニューアルをしたマナでは、利用用途も多様化。9月には初めてのレストラン・ウェディングを開催し、12月には国内で人気のビジネスコンテストを行うTV番組の「ビジネスをサステナブルにスケールせよ」という回でマナが題材となり濱川明日香・知宏が出演&審査員として参加。リジェネラティブトラベルインパクト賞のファイナリスト選出、サーキュラーアワード受賞、その他多くの国際メディアに掲載され、たくさんの関心を頂いています!あとは渡航が可能になってくれれば…!



1
初めての結婚式!

IMPACT HERO 2016 ロビン・リムのアシスタントの結婚式をマナで開催!パンデミック中でもオープンエアな環境で、安心して式を挙げていただくことができました。



3 4
インドネシアの
人気TV番組ロケ実施

2
サーキュラーアワードで
国際的に評価!
世界24カ国204点の応募から、人間が自然と一体となった取り組みに贈られる「サイスの弟子たち」賞を受賞!

インドネシアで人気のビジコン番組で、12000人の中から選び抜かれた16人の起業家をマナに迎え、濱川明日香・知宏からサステナビリティについて学ぶ会の撮影が行われました。

SEMINARS & LECTURES

講演・登壇



Seminar/Event	Organizer
第7回クレオ大阪中央 男女共同参画セミナー 「上本町SDGs大学」SDGs ×環境 ～自然と共に生きる 観光地バリから学ぶ～	公益財団法人 太平洋人材交流センター (PREX)
「里山ミライ拠点化計画 連続トークセッション」 里山未来拠点形成事業について 第1章～里山の今～	環境省 関東パートナーシッププラザ
全国の中学生向けに Earth Companyのお仕事紹介、濱川夫妻の仕事観	ベネッセ
HAPIC 2021 「“経営の視点”で考える国際協力セクターの未来」	JANIC
HAPIC 2021 「企業とのコレクティブインパクトで進めるエコシフト」	JANIC
Leading an Impactful Career: Balancing Meaning, Ambition, and Family	Asia School of Business
How might we redesign tourism for the post-covid world?	ECHO of UTokyo
「海洋プラスチックごみ、研究の最前線」	朝日GLOBE
JICA 青年海外協力隊 SDGs 研修	JICA
2021 エシカル・コンシェルジュ講座9期 「SDGsはゴールじゃない。目指すべきリジェネレティブな未来とは」	一般社団法人エシカル協会

Seminar/Event	Organizer
Gender Fluency	Gender Fluency: Japanese Womens Empowerment Forum
SDGsのその向こう～バリ島から見た地球	築地朝塾
Future Proof Masterclass - The Art of Living Impactfully	Diana Wu David
「気候危機時代～『まだ大丈夫』を変えるためにできること」 〈旭硝子財団協賛〉(朝日新聞地球会議2021)	朝日新聞
ティーチャーズ ギャザリング	Think the earth
五城目町グローバル人材育成事業 ～コンポストづくりを通して学ぶ持続可能な世界	秋田県五城目町
The Meaning of Work	LMI
TOURISM TALK	Universitas Gadjah Mada
エシカルジャーニー・バーチャルツアー	エシカル協会
Pathways Day	Green School Bali
Mana Earthly Paradise	Bluepreneur Bootcamp Program 2021
High School Entrepreneur Week	Surabaya-based international school
Sustainable and Regenerative Tourism	YPO
Social Entrepreneurship: Leadership & Business Model	STEAM platform
Youth Co: Lab Hong Kong Dialogue 2021 – Youth wellbeing and Health	Asian Young Social Innovators

FINANCIAL HIGHLIGHTS

財務報告

今年は、新型コロナパンデミックによる財政的影響が一番大きくなった年でした。なぜならパンデミックで収入が減っただけでなく、これを乗り切るための新事業開発に新たな支出が発生したためです。

バリ渡航型の研修事業が実施できなくなり、9割減となった事業収入を回復するため、今年は新しいオンライン研修事業の開発と導入に、文字通りチーム一丸で取り組みました。その結果、事業収入は前年比増、ただし目標額には大きく及びませんでした。キャッシュフローを回すために、コロナ融資の借り入れも行いました。

支出も前年度より増加し5,447万円となっていますが、これは財政状況の見通しがついていなかった前年度に一時的に減給・時短したメンバーを通常水準に戻したこと、上述の研修プログラムの開発費などによるものです。

最終的に2021年度は、約450万円の赤字となりました。厳しい数字ではありますが、パンデミックが続くなか事業を継続、発展させることができたのは、皆さまのご支援のおかげです。

2022年度は財政基盤の安定化に向けて、オンライン研修プログラムの普及と、寄付収入の拡大に向けた施策の実施に注力していきます。

貸借対照表

令和3年12月31日 現在 税込(単位:円)

資産の部		負債及び正味財産の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】	9,015,968	【流動負債】	3,493,954
現金及び預金	7,280,332	未払金	2,594,423
売掛金	1,158,500	未払費用	40,627
立替金	18,636	未払法人税等	70,000
未収収益	558,500	未払消費税等	598,700
		預り金	190,204
		【固定負債】	10,000,000
		長期借入金	3,000,000
		長期未払金	7,000,000
		負債の部合計	13,493,954
		正味財産の部	
		【正味財産】	△ 4,477,986
		前期繰越正味財産額	67,875
		当期正味財産増減額	△ 4,545,861
		正味財産計	△ 4,477,986
		正味財産の部合計	△ 4,477,986
資産の部合計	9,015,968	負債・正味財産の部合計	9,015,968

損益計算書

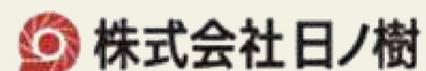
自 令和3年1月1日 至 令和3年12月31日 税込(単位:円)

経常収益	受取寄付金	受取寄付金	36,304,753
	受取助成金	受取助成金	4,984,500
	事業収益	受託事業収益-研修事業	8,210,756
		その他の事業収益	507,833
経常収益		計	50,007,842
経常費用		支払寄付金	7,944,569
		業務委託費	21,363,896
		商品廃棄損	46,308
		役員報酬	2,280,000
		給料手当	14,227,470
		法定福利費	2,866,077
		広告宣伝費	306,240
		会議費	43,826
		旅費交通費	826,191
		通信費	922,955
		消耗品費	39,677
		新聞図書費	13,988
		諸会費	82,000
		支払手数料	2,477,857
	租税公課	599,150	
	研修費	432,390	
経常費用		計	54,472,594
当期経常増減額			△ 4,464,752
経常外収益		受取利息	121
		雑収入	23,163
	経常外収益		計
経常外費用		支払利息	1,146
		為替差損	33,237
	経常外費用		計
税引前当期正味財産増減額			-4,475,851
法人税、住民税及び事業税			70,010
当期正味財産増減額			-4,545,861
前期繰越正味財産額			67,875
次期繰越正味財産額			-4,477,986

OUR SUPPORTERS

ご支援くださった企業・団体

OUR SUPPORTERS



OUR PARTNERS



Special Thanks to

[ファンドレイジングアドバイザー] 繫奏太郎 [Operation Green 事業企画] 鏡味秀房 [Operation Green システム開発] 寺田有汰
[ブランディング] 酒井真理亜 [翻訳] 大友高志

MESSAGES FROM OUR SUPPORTERS

～私がEarth Companyを応援する理由～



井上高志様

株式会社LIFULL 代表取締役 社長執行役員

Earth Companyを応援する理由は、濱川ファミリーが大好きだからです。地球の一部である人間が、我が物顔で自然や地球を踏み荒らし続けるのではなく、調和と共生でリジェネラティブにすることを自らも実践し、更には同じ志を持つIMPACT HERO達にフルコミットしている、本当に凄いことです！人も地球もWell-beingにするインパクトをこれからもどんどん生み出してってください。応援し続けます！



石塚亮様

エンジェル投資家・メルカリ共同創業者

温暖化による気候変動、各地での紛争と人権侵害、そしてきわめつけにコロナ禍と我々はかつてないほど未来が不透明な時代に生きています。そんな時代だからこそEarth Companyが掲げる次の世代へより良い未来をつなげる活動というのが必要だと考えます。特に自分達だけで未来を創出しようとするのではなく、インパクトヒーロー支援で変化を促す力を持つ人たちをも巻き込みサポートをするという考え方に共感し、今後も団体の活動を後押ししていきたいと思っています。



クリス・トンプソン様

元グリーンスクール理事長

社会や環境にポジティブな変革をもたらすIMPACT HEROたちを支援するEarth Companyは、地球に必要な存在です。去年からは能力開発支援をファイナリストたちにも広げて、インパクトを拡大しています。Earth Companyのような素晴らしい仕事をする人たちを、世界はもっと必要としています。



中西美佐様

立命館中学校・高等学校 英語科、グローバル教育部長

Earth Companyは、私をいつも原点に戻してくれます。自分はどうか、本当は自分がやりたいことは何か、自分は何を未来へ引き継いでいくのか、Earth Companyの活動に触れる度に自分の根幹にある“Be”を再認識しています。社会課題に向き合うImpact Heroesのストーリーやバリ研修など様々なプログラムによって、世代を超えて皆が大きく心を動かされます。ここに、Earth Companyの魅力があるのではと思っています。



廣瀬朋子様

メタセラピスト

明日香さんの講演で初めて彼女のお話を聞いて、カミナリが落ちた様な衝撃を受けました。グローバルな視点を持ち、純粹で優秀で、こんなにエネルギーに満ちて活動する人達がいる事に喜びを感じました。何のしがらみも無い彼女達ならきっとこの世界を救えると思い、サポートしています。こんな方々に日本をリードして欲しいと、私は本気で思っています。

2022 PROSPECTS

2022年の展望

IMPACT HERO支援事業



サミールへのファンドレイジングを開始!

IMPACT HERO 2022 サミールへの支援が開始! 石けんのリサイクル機械を購入するためのファンドレイジング、事業パートナー拡大、マーケティング支援などを順次実施します。

IMPACT HERO 2021 アリーフには、大型助成金への申請や、昨年に引き続き日本での販路拡大のための支援を行います。またファイナリストにも、昨年同様1年間のリーダーシップ研修を提供します。

インパクトアカデミー事業



学校や企業へ、プログラムの導入を推進

2021年に開発したオンラインプログラムの企業・学校への導入を推進。社会人や中高生を対象の個人向けプログラムや、高校生を対象としたオンライン修学旅行も開催し、1人でも多くの方がリジェネラティブな未来のために行動を起こすきっかけを提供します。さらにその行動に伴走する「オペレーション・グリーン」などの実践プログラム導入や、海外マーケットの開拓も注力します。

エシカルホテル事業



観光の再開に備え万全の準備で

2022年はようやく国境が開き、ワクチン接種済みの渡航者の隔離を撤廃するなど、政府がwithコロナでの観光再開を試んでいます。マナでは竹のプレイグラウンドを建て、大人と子供がそれぞれにより楽しめる場作りを進め、今年一番の重要課題として、ヴィラの居心地をより良くするための改修作業も行います。夏には予約も入り始め、一日も早く海外からお客様をお迎えできるよう祈る毎日です!

HOW TO SUPPORT

支援方法

地球を愛する、Earth Loversとして 地球の危機を救う、ヒーローを支えよう。

今後数年の人類のアクションが、
今後数千年の地球の未来に影響を与えています。
私たちはそんな時代に生きる「地球を救える最後の世代」。
その最後の世代として未来を変えるために人生をかける
チェンジメーカーを支えるインパクトヒーロー支援事業は、
Earth Loversのみなさまからの継続寄付で運営しています。
忙しい毎日でも未来のために何かしたいという気持ちをヒーローに託し、
地球を救うアクションを起こしませんか。

Earth Lovers(継続寄付者)になると…

1 未来をつくる ヒーローの力になれる

リジェネラティブな未来をつくる
ために人生を賭けるチェンジ
メーカー(IMPACT HEROや
IMPACT HEROの選考ファイナ
リスト)の活動を支援できます。

2 国内外の 先進事例を学べる!

Facebookの限定グループ「Earth
Lovers」にご招待。スタッフが平日
毎日投稿する国内外のサステナ
ブルな取組や世界の現状に関する情
報で、世界のリアルや先進事例にア
ンテナをはっておくことができます。

3 仲間ができる!

年2回のEarth Lovers限定イベ
ント(活動報告会)にご招待!同
じ思いを持つ仲間と出会えます。

4 「Regenerative Lifestyle」 をプレゼント!

人と社会と自然が共鳴しながら発
展する、リジェネラティブな未来の
ために、楽しみながらできるライフ
スタイルのヒントをまとめた、Earth
Companyオリジナル冊子をお届け
します!(2022年10月発行予定)

5 ヒーローから メッセージが届く!

Earth Loversのみなさまから
のご支援に感謝の気持ちを込め
て、IMPACT HEROから年に1
回、動画メッセージが届きます!

Earth Loversの
詳細・登録は
こちら





EARTH COMPANY

www.earthcompany.info

Earth Companyは
次世代につなぐ未来のために
人と社会と自然が共鳴しながら発展する
リジェネラティブなあり方を追求します。

〒107-0062

東京都港区南青山2-15-5 FARO1F

Tel 03-6753-1558(東京オフィス)

Banjar Mas, Sayan, Ubud,
Gianyar, Bali, Indonesia (バリ島オフィス)

Emailcontact@earthcompany.info

 Earth Company -アース・カンパニー
www.facebook.com/EarthCompanyJP/

"We do not inherit the earth from our ancestors. We borrow it from our children."

この地球は、先祖から継承したのではなく、私たちの子どもたち、子孫から借りているのです。

2022年6月発行

編集：一般社団法人 Earth Company

デザイン：野村真美